

HAPPY MIE PROJECT



燃料の約25%は、未利用間伐材等の木質チップです



9.19 グリーンエナジー津バイオマス発電所(雲出鋼管町)

豊かな森林づくりを みんなの力で!

三重県の面積の64%を占める森林は、きれいな水や空気を育み、土砂の流出や崩壊を防ぎ、地球温暖化防止など、重要な働きを果たしています。しかし今、過疎・高齢化、長引く林業の低迷などによって、荒廃した森林が増えています。そこで、三重県では「みえ森と緑の県民税」によって「災害に強い森林づくり」「森を育む人づくり」などの取り組みを推進しています。また、広葉樹の植樹など、地域の活動も始まっています。



2.26 美杉町奥津で植樹



子どもたちと一緒に大きくなあれ!



11.23 三重の木の椅子展(三重県立美術館)

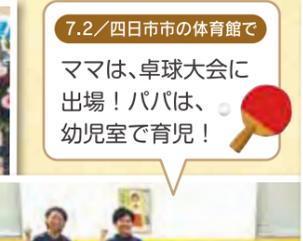


木をふんだんに使った空間

2021三重とこわか国体・全国障がい者スポーツ大会において



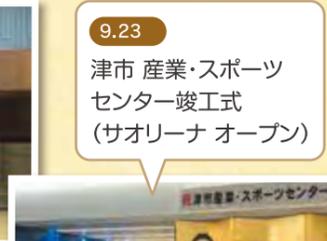
1.29 伊藤美誠選手「吉田沙保里大賞」受賞 私は、三重県卓球協会会長として参加。



7.2/四日市市の体育館で ママは、卓球大会に出場! パパは、幼児室で育児!



6.22 車いすバスケットの練習。激しい動きにびっくり!



9.23 津市 産業・スポーツセンター竣工式(サオリーナ オープン)

ようやく、子ども医療費の一部が、窓口無料へ!

三重県は、0歳~6歳で、「一人親家庭等医療費助成制度」及び児童扶養手当の所得制限基準(扶養が一人の場合230万円)を適用した「障がい者医療費助成制度」「子ども医療費助成制度」の子どもを対象に、窓口無料化により、踏み切りました。

津市は、「児童扶養手当の所得制限基準を適用」の条件を外し、対象者をさらに拡大し、この9月からの実施を予定しています。

津市の子ども0歳~6歳の約84%にあたる約13,000人が、津市内の医療機関で受診した場合、窓口で医療費を支払わなくてもよくなります。

県立一志病院は民間譲渡されません!!

知事は、「一志病院が取り組んでいる総合診療医やプライマリケア・ナースなどの医療人材の育成は、県が関与すべきであり、地域包括ケアシステムの構築は市町の役割である」との見解を示し、県と津市は、白山・美杉地域における在宅医療・介護の提供体制等について、役割分担や取り組み方向について議論を深めています。現在、津市は、平成30年度から地域医療連携室の専任職員として、一志病院へ津市職員2人の派遣を検討しています。

県政・県議会に対してのご質問やご意見をお待ちしています。

杉本ゆや事務所 (各地域で行われる行事などにもどンドン声をかけてください)

〒514-0003 津市桜橋2丁目142 TEL 059-226-6252 FAX 059-227-7139

■「杉本ゆや」で検索するとホームページをご覧頂けます。



YOU(あなた)とYUYA(ゆや)をつなぐYY(わいわい)通信

ゆや活動報告

2018年 YY通信22号 春号

発行責任者/三重県議会議員 杉本熊野



新しい年がはじまりました。

三重県は、「幸福実感日本一」をめざして、毎年、県民一人を対象に「みえ県民意識調査」を実施しています。その結果、幸福実感の平均点は年々高くなっており、特に、「子どものためになる教育」「産業活動の活発化」「三重県の魅力発信と交流」については、幸福実感が大きく伸びています。

しかし一方では、社会保障費の増大、人口減少、地域産業の活性化、防災対策、地球環境問題など、課題は山積です。これからも、「課題も 答えも 現場にあり」の姿勢で、精一杯がんばります。

あるく!きく!活動報告

県内外の調査や地域を歩くことにより、多くの皆さまと対話をし、県政の課題をつかむ活動です。

Vol.8

障がい者差別の解消にむけて!

私は、昨年5月より、障がい者差別解消条例策定調査特別委員会の委員長をつとめています。

現在、県内外調査や当事者等からの意見聴き取りを重ねながら、条例案の検討を進めています。今後、県民の皆さまからの意見募集なども行い、6月会議において条例を制定したいと考えています。

障がい者差別の解消や、障がい者の自立と社会参加の支援等の施策が推進される条例となるよう、しっかりと取り組んでまいります。

皆さまのご指導ご支援をより一層賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



12.23

「クリスマスケーキ作り」楽しかった!!

8.22 実効性のある条例に!

特別委員会では障がい者団体等の全国組織である「日本障害フォーラム(JDF)」を訪問し、条例策定に関する考え方などについて意見交換しました。当事者の声がかかり反映できるようがんばります。



12.1

日本肢体不自由者卓球協会が 知事表敬訪問

H32年3月、サオリーナで「第40回ジャパンオープンパラ卓球選手権大会」開催。



10.28

中尾陽平さんのご家族と

遷延性意識障がい者とその家族が安心して暮らせる施策の充実が必要です。



10.27

東横INN 津駅西口

障がい者が宿泊を断られる事例が多数ある中、先進的な取り組みを調査しました。





2017年
12月4日

一般質問に立ちました!

本会議を傍聴して下さった皆さん、ありがとうございました!



安全・安心な教育環境づくり

「通級による指導」の充実を!

「通級による指導」(通級指導)を受けている子どもの数は、年々増加していますが、三重県では中学校の通級指導教室数が少ない状況です。

通級指導教室とは

言語や聴覚の障がいや、LD・ADHDの子どもたちが、通常の学級から、定期的に専門的な指導を受けるために通う教室。

平成29年度 通級指導教室の設置状況

| | 小学校 | | 中学校 | |
|---------|-----|-----|-----|-----|
| | 教室数 | 児童数 | 教室数 | 生徒数 |
| 言語 | 27 | 415 | 1 | 6 |
| 難聴 | 3 | 26 | 0 | 0 |
| LD・ADHD | 31 | 370 | 5 | 55 |
| 計 | 61 | 811 | 6 | 61 |

※LD:学習障害 ADHD:注意欠陥多動性障害



質問1 中学校における通級指導の課題と今後の取り組みはどうか?

教育長
答弁

中学生になると他の生徒と違う場所で学ぶことに抵抗感を持つこともあり、中学校での設置は少ない。
現在の支援の状況や考え方について市町教育委員会と丁寧に意見交換していく。



質問2 平成30年4月1日より高等学校における通級指導ができるよう制度改正された。高等学校における、障害のある生徒に対する指導や支援の現状と、通級指導導入についての考えは?

教育長
答弁

特別支援教育コーディネーターが中心となって、組織的な支援を行っている。また、発達障がい支援員を派遣し、教員が適切な支援を行えるよう助言している。
通級指導については、モデル校の検討をしている。



要望

放課後でも、通級指導が受けやすいよう、担当教員の勤務時間の工夫や土曜日の開設など、環境整備の検討を!

特別支援教育については、就学前から、小学校、中学校、高等学校へと、途切れのない支援を!

子どもたちを育み未来を築く! 三重県総合博物館



質問3 開館3年半 入館者100万人突破! これまでの成果と今後の取り組みはどうか?

環境
生活部長
答弁

展示観覧者のうち子どもが4割を占める。三重の未来を担う子どもたちが、三重について深く学ぶ場となるよう注力し、多様な豊かな自然と歴史・文化の素晴らしさやアイデンティティを再認識していただいた。所蔵資料は、旧博物館時代の28万点から56万点へと倍増した。今後は、収集・保存・調査・研究・移動展示などにより一層取り組む必要がある。

高校生以下の子どもは入館無料なので、収益は0円です。博物館の価値は、お金だけでははかれません。



若者就労支援の強化を!

若者の就労はとて不安定!
三重県では、中卒者の約7割、高卒者の約4割、大卒者の約3割が、卒業後3年以内に離職しています。

ジョブカフェ「おしごと広場みえ」の利用状況



若者の就労支援をしている「おしごと広場みえ」の登録者数は、H23年2,524人であったが、H28年は1,681人に減少している。
その要因や課題、取り組み状況はどうか?

雇用
経済部長
答弁

近年の雇用情勢の改善もあるが、「おしごと広場みえ」の認知度も不足している。ニーズを把握し、ターゲットを明確にした広報活動を展開していく。

三重県産業支援センターへの事業委託でパワーアップを!



県は、三重県産業支援センターに「企業と若者のマッチングサポート事業」を委託したが、その内容は?

雇用
経済部長
答弁

企業と若者の交流イベントや企業とのネットワークづくりに取り組んでいる。早期離職の防止につながるよう、質の高いマッチングを実現していきたい。

スエヒロEPMの見学スクリーンプレス搾油機は国内シェア90%です。



「県内の企業を見学したい!」という大学生たちと、現場訪問!

U・Iターン就職の促進を!



県外へ流出した学生のUターン就職の促進について、知事の考えはどうか?

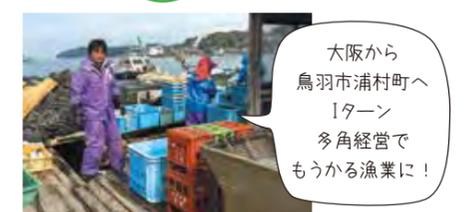
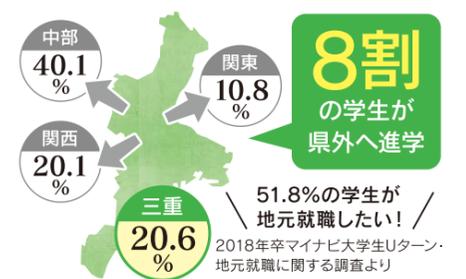
知事
答弁

三重県の経済の活性化と地域振興のためには、県外大学で学んだ学生が、三重の地で就職し、その能力を存分に発揮いただくことが必要不可欠。
大都市圏での就職セミナー開催、県外の10の大学と就職支援協定の締結、インターシップの実施などに取り組んでいる。

要望

生活と仕事の両立や働きやすさを重視する学生が増えていきます。県内企業の働き方改革を推進し、「三重で就職したい!」という思いが一層強まるよう取り組んでいただきたい。

県内高校卒業生の進学先地域の割合(平成26~29年度)



大阪から鳥羽市浦村町へUターン多角経営でもうかる漁業に!

2017年
活動
アルバム

2.3



福いっぱい年になりますように!

7.29



働く女性たちとの意見交流会

11.4



赤川越水による農業被害
治水事業が急がれます!

10.1



八幡園 サロンは笑顔いっぱい

1.21



「津ぎようざ」で津市を元気に!

8.19



「多文化共生フォーラム 2017inみえ」を主催

7.19



三重県工業研究所を訪問

11.6



要望の第一位は、横断歩道の修復

10.15



手作り料理の「にこにこサロン」